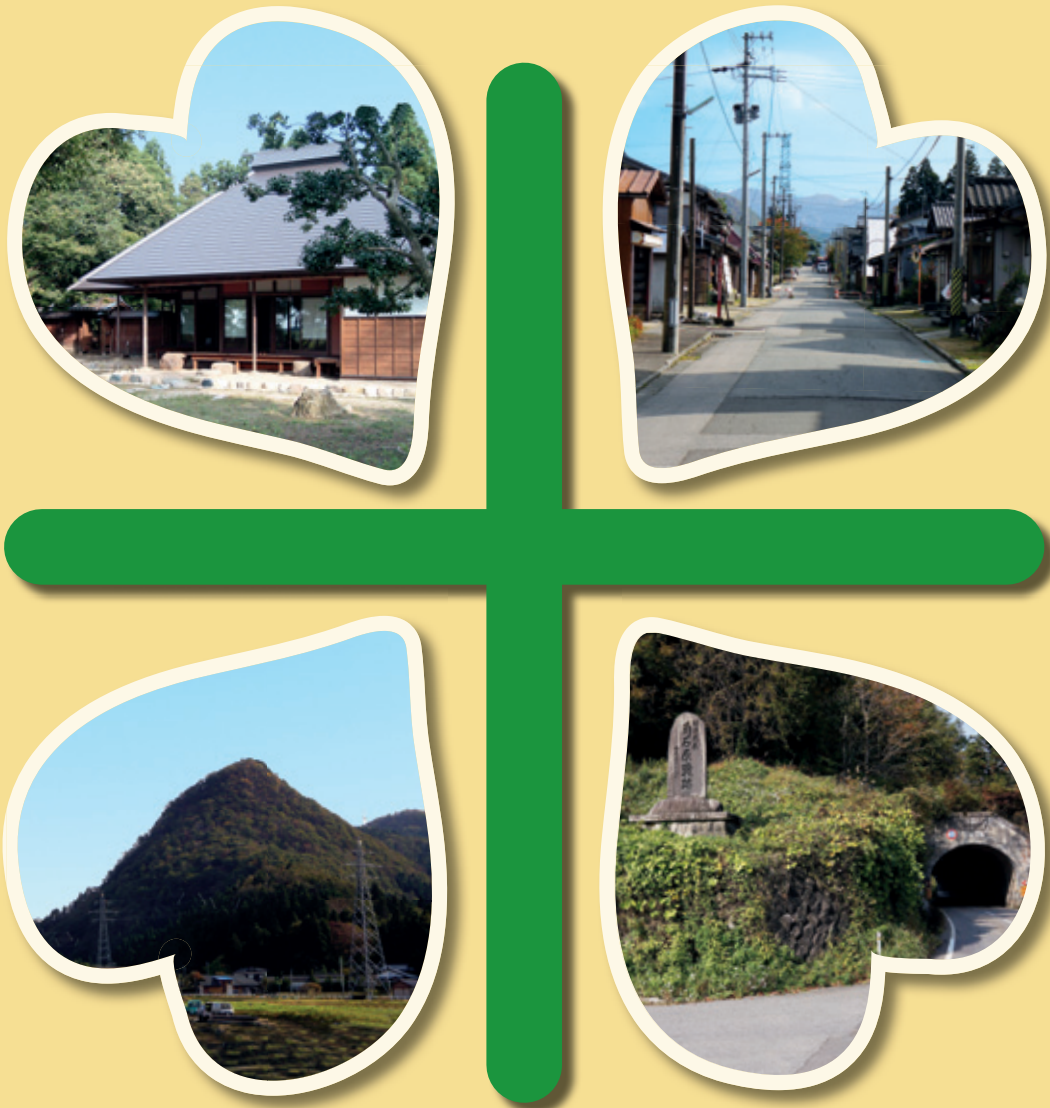


豊かな自然  
歴史が息づく住みよい地域 米倉  
～地域の宝を掘りあてよう!～



米倉地区区長会

# ご あ い さ つ

旧会津街道は江戸時代に新発田のお殿様が江戸への参勤交代のときに通った道だといわれています。米倉地区はその街道沿いに点在する四集落からなり、各所に当時の面影をしのばせる歴史的景観が今でも残っていますし、新発田市の景観条例にも指定された文化的な要素も持ち合わせた地区です。

また、中山間地に位置することからその豊かな自然を活かし稲作を中心にしながらも畑作に京野菜を栽培するなど他地区にはない取り組みを実践し、純農村地帯でありながらも常に未来志向を考えている地区でもあります。

しかし、近年の少子高齢化の波はこの地区においても例外ではなく、子供たちの数もめっきり少なくなり高齢化とともに世帯の減少や、空き家も多くなりました。

今こそ、米倉地区全体で地域福祉を考えていかなければならない時期に来ているのだと感じているところです。

この度、新発田市及び新発田市社会福祉協議会のご指導のもと、米倉地区の「福祉活動計画」を策定することが出来ました。

この計画の策定にあたっては、地区内の自治会役員はじめ各組織、団体等、多くの皆様から参加をいただき、米倉地区の良いところや課題について3回にわたって懇談会を開催し討論を重ねてきたところです。

この懇談会を重ねるたびに、和気あいあいとした中にも活発な論議がなされ、改めてこの地区の良さが出ていると感じました。もともと、米倉小学校区を単位とした小さな地区であるため年代を越えても顔なじみが多く、気心も知れているからかもしれません。

福祉活動計画は行政から与えられるだけではなかなか根付きません。地域住民が主体となって考え、互いに協調し、助け合いながら行動することが必要と考えます。

今回の懇談会で、すべての意見が出尽くしたとは思っていません。これを機会にもう一度ふるさつを見つめなおし、将来の米倉地区のためにさらに論議を重ねながら計画を実践してまいりたいと考えています。



平成27年12月

米倉地区区長会 会長 齋藤 誠司

# 目 次

1 地域伝言板	
(1)米倉の歴史をひもといてみる	1
(2)米倉の魅力&宝もん	2
2 計画の概要	
(1) 米倉地区福祉活動計画とは	3
(2) 米倉地区福祉活動計画の目的	3
(3) 米倉地区福祉活動計画の推進に向けて	3
(4) 米倉地区福祉活動計画づくりの意義	4
3 地域の魅力と現状	
(1) 地域の魅力について	5
(2) 地域の現状について	5
4 福祉活動計画	
(1) 基本理念(スローガン)	6
(2) 基本目標	6
(3) 計画の実現に向けて	7
5 策定方法	
(1) 米倉地区福祉活動計画策定団体等	10
(2) 米倉地区福祉活動計画策定経過	11
(3) 米倉地区福祉懇談会で出された意見	12
6 参考資料	
「新発田市地域福祉(活動)計画」の基本理念と体系	16
米倉地区福祉懇談会回覧	18

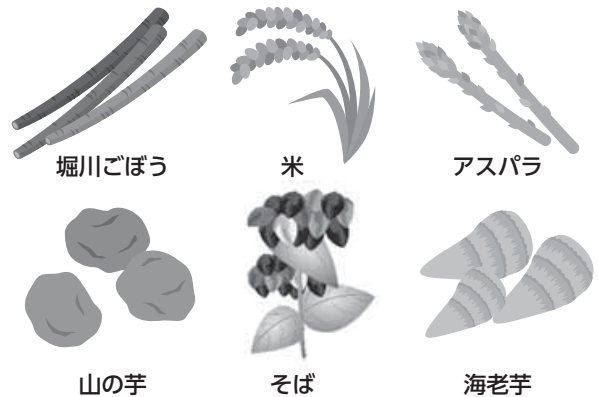


# 1 地域伝言板

## 豊かな自然 歴史 文化 農村 米倉地区



### 主な農産物



### ～米倉の地名～

米倉の名前の由来には諸説ある。12世紀には米倉地域一帯に広大な領地をもっていた豪族「米倉隼人之助安中（よねくらはやとのすけやすなか）」の名が起りという説、また藩の重要な水路のひとつであった「乙見江（おとみえ）」の江（川の取水口に由来して「江の蔵」（えのくら）と表記するようになり、発音が変化して「よねくら」になった説や、古くから優良米が穫れたため「米」の「倉」庫という意味で地名がついたという説がある。

### (1)米倉の歴史をひもといてみる

#### ■ 旧会津街道と松並木 ～新発田市指定文化財～

江戸時代、旅人が休む宿場にするために、整備したのが米倉。集落を走る旧会津街道は敵の攻撃から参勤交代の列を守るために直角に曲がっている。外様大名だった溝口のお殿さまは親藩の会津藩を警戒し、守りに力を注いだとの見方も。米倉小学校前の松並木は、新発田藩の御用林「一本松木原」の名残。当時は、街道の両側に茂り、有事の際には伐り倒して敵を防ぐ狙いがあったという。

#### ■ 大庄屋齋藤家のあゆみ

400年余り前、新発田市北部の加治にお城を構えていたお殿さまが戦い敗れ滅び、家臣の齋藤左馬之介（さいとうさまのすけ）は米倉に逃れた。そして屋敷を建て道路の整備を行うなど、地域の開発の先頭に立ち、米倉の人々に信頼されるようになったという。この左馬之介こそ、齋藤家の先祖にあたる。豊臣秀吉から溝口のお殿さまが新発田の領地を与えられると、その後、齋藤家は60石の取り扱いを許され、大庄屋となった。現在は、有機の里交流センターになっている。

#### ■ 普門院

「昔、観音さまの像を背負った慎ましい身なりのお坊さんが京都からやってきて、お経をあげ、説法をして回っていた。やがて村の人々の信頼を集めるようになり、お寺を建てることになった。」普門院の始まりはそう伝えられる。記録によると創立は1143（康治2）年。本尊の十一面観音の光背部は欠けており、お坊さんが背負ってきたという逸話と一致するかのようだ。本堂の建築の記録となる棟札には、大願主・齋藤安治（嘉兵衛）と記されている。大庄屋齋藤家の菩提寺でも

ある。庭は、清水園や旧大庄屋斎藤家住宅と同じように、縣宋知（あがたそうち）が手掛けたと伝えられる。また、米倉小学校も1873（明治6）年、普門院を校舎として開校した歴史をもつ。お日待ちの祈祷は、五穀豊穰を願い、実りに感謝して行われる。

## ■ 臼が森伝説

今から約860年前、米倉周辺に大きな勢力をもっていた米倉隼人之助安中という長者が、立派な金のうすを家宝にしていた。米倉家は代々それを大事に受け継いだ。しかし7代目になって一帯を荒らし回っていた盗賊との戦に敗れ、当主は金のうすを背負って逃げ出した。追っ手に迫られた当主は、背負っていた金のうすを山の岩穴に隠した。のちに多くの人が金のうすを探したが、見つかることはなかった。その故事にちなみ、うすが隠されたとされる山を「臼が森山」と呼ぶようになったと言われる。

～資料 よねくら散策まっぶ～

## ■ 角石原古戦場

明治元年7月、新政府軍を8月には奥羽追討軍総督仁和寺宮を新発田に迎え、会津征討の越後口の本営が新発田城に置かれた。新政府軍の先鋒として会津街道へ攻めた新発田藩兵は、総隊長の家老溝口内匠の指揮のもと、会津領域の中山村（現中々山）付近で陣地を築いた。

会津藩も中山村の山中に陣を構えた。そして8月14日早朝、戦いは始まった。激しい戦いで最初は新政府軍に不利であったが、もり返して会津藩を赤谷に敗走させた。

新発田藩も多く戦死傷者を出した。戦場跡碑は市内中々山地内県道沿いの山裾にある。

～資料 城下町新発田400年のあゆみ～

## ■ 山内口留番所

新発田藩境の番所で山内口留番所がある。会津街道の山内関は新発田藩と会津藩の新発田藩側の関所で、往時は「桂の関」と呼ばれていた。十返舎一九の『諸国道中金の草鞋』に「山の内というふに至れば、新発田よりの御番所あり、茶屋に案内を頼み御断り申して打ち通る」とあり、入るものは改めず、出るものだけを相改めた。



～資料 新発田市史 上巻～

## (2)米倉の魅力&宝もん

### ●サイクリングロード（旧国鉄 赤谷線）

～中々山が終点～

旧国鉄赤谷線（1925年～1984年）を整備したサイクリングロードは、約12.3キロメートルの自転車道・歩行者専用の舗装道。歴史や自然を感じながら、サイクリングやウォーキングを楽しめる。



### ●米倉ふれあい農園

農薬や化学肥料を抑えた安心・安全な野菜作りに、米倉地域をあげて取り組んでいる。家庭の生ごみや家畜のふんなどを米倉の有機資源センターで肥料にし、それを農作物の栽培に利用している。一般市民向けに、枝豆やジャガイモ、サツマイモなどの収穫体験のイベントも行っている。

### ●まだまだ たくさんの宝物

- |          |             |             |           |
|----------|-------------|-------------|-----------|
| ・米倉神社    | ・肥田野邸→東北民藝館 | ・宗福寺        | ・蛭        |
| ・ビオトープ   | ・米倉農村改善センター | ・米倉有機資源センター | ・天神様と山の神様 |
| ・お地藏さま参り | ・うすがもりの里    | ・米倉太鼓       | ・かんじきレース  |
| ・石積み用水路  | ・ねむの木の市 など  |             |           |

～資料 よねくら散策まっぶ～



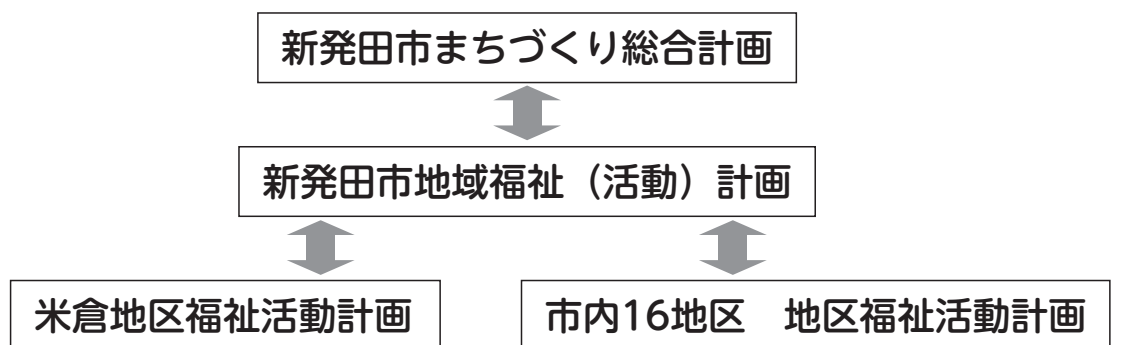
## 2 計画の概要

### (1) 米倉地区福祉活動計画とは

少子高齢化社会を迎え、社会全般が大きく変化している中、行政への市民要望は年々増大していますが、一人ひとりに適したきめ細かなサービスを行政だけの力で提供することは困難になっています。このため、市民が自立した生活をめざし、地域での福祉を「支え合い」によるシステムという新たな視点で再構築し、維持していく仕組みをつくりあげることが重要となっています。

新発田市は「まちづくり総合計画」の中で、目指すべき将来都市像を「住みよいまち日本一 健康田園文化都市、しばた」としています。その基本理念の下に、新発田市地域福祉(活動)計画は、「しばたに住んで良かった。」と市民が言えるよう、地域において市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関が相互に知恵を出し、力を合わせながら、高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域で安心して生活を送ることができる“共生社会”の実現を目指しています。

「米倉地区福祉活動計画」は、地域の中で問題となっていること、困っていることなどを「地域みんなの問題」として捉え、話し合い、取り組んでいくための指針であり、「新発田市まちづくり総合計画」、「新発田市地域福祉(活動)計画」に基づいた計画です。



(順次策定しています。)

※地域福祉とは、「適切な地域を単位として」「地域住民が主体となり」「地域課題の解決に向けて」「自治会と行政なども含め」「お互いに知恵を出し合い」「支え合っていく」ことです。

### (2) 米倉地区福祉活動計画の目的

米倉地区に対する想いを語り合うことを通して、「地域の現状や課題」、「地域でできること」、「自分でできること」、「こうなったらいい」などを一緒に考え住民主体の地域福祉づくりを市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などと連携して進めていきます。高齢者や障がい者など支援の必要な市民が地域(米倉地区)で安心して生活できる“共生社会”の実現をみんなで目指します。

### (3) 米倉地区福祉活動計画の推進に向けて

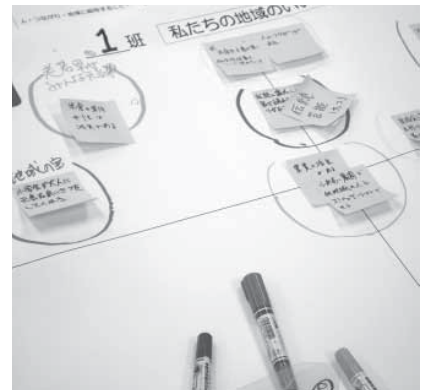
計画づくりの過程を通じ、みんなで同じ方向を向いて協働していくために、地域の課題や目標を共有しましょう。その上で、米倉地区の中長期的な目標として位置づけ、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが連携して取り組みを進めていくことが重要です。

## (4) 米倉地区福祉活動計画づくりの意義

### 米倉地区福祉活動計画を地域みんなで作ることで

- ① 地域の課題や目標を関係者で共有し、同じ方向を向いて**協働**することができる。
- ② 計画を公表することで、地域の福祉活動について、広く地域住民の**理解**と**協力**が得られる。
- ③ 中長期的な見通しを持って、**段階的・継続的**に取り組んでいくことができる。
- ④ 活動の**優先順位**や**重点**がはっきりする。
- ⑤ 活動がうまく展開されてきたか振り返り、次の**課題**を明らかにすることができる。
- ⑥ 計画づくりの過程で人が育ち、地域の関係者の**連帯**も強くなる。

# みんなで作る米倉地区福祉活動計画





## 3 地域の魅力と現状

### 米倉地区福祉懇談会で見てきた地域の魅力と現状

米倉地区に住んでいる子どもから高齢者まで、すべての住民が地域においていきいきとした生活を送ることは米倉地区住民のみんなの願いです。

この願いの実現に向けて、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが協働しながら、みんなで米倉地区福祉活動計画を策定しました。

計画策定の具体的作業として、平成27年7月～平成27年9月まで3回にわたり福祉懇談会を開催し、地域の現状や福祉に関わる様々な課題について、話し合いをまとめました。

#### (1) 地域の魅力について

##### ① つながりについて

- ・子どもの挨拶が良い
- ・事業でさまざまな人とコミュニケーションが可能
- ・人と人のつながりが深い
- ・近所づきあいが良い

##### ② 地域活動について

- ・自治会活動にまとまりがある
- ・伝統の盆太鼓、笛で踊れる盆踊りがある
- ・学校行事に保護者が多く参加する

##### ③ 社会資源について

- ・歴史ある寺社仏閣がある
- ・歴史的景観（町並）
- ・さまざまな団体の活動が活発である
- ・12kmもあるサイクリングロードがある
- ・有機の里交流センター、米倉ふれあい農園、ねむの木の市がある

##### ④ 地域性について

- ・人が優しい
- ・農業に活気がある
- ・お年寄りが元気である
- ・豊かな自然（臼が森、加治川、二王子等）
- ・男性、女性とも活気がある
- ・自家製の野菜などをあげたりもらったり出来る

#### (2) 地域の現状について

##### ① 地域について

- ・空き家が増加している
- ・高齢者世帯が増えつつある
- ・一人暮らし世帯が増加している
- ・独身が多い
- ・猿、猪が多い
- ・雪が多い

##### ② 生活について

- ・小学校の統合が決定した（少子化）
- ・交通が不便

##### ③ つながりについて

- ・自治会行事の参加者が固定化している
- ・世代間のコミュニケーションが希薄になりつつある

##### ④ 後継者不足について

- ・少子高齢化
- ・若い世代が少ない

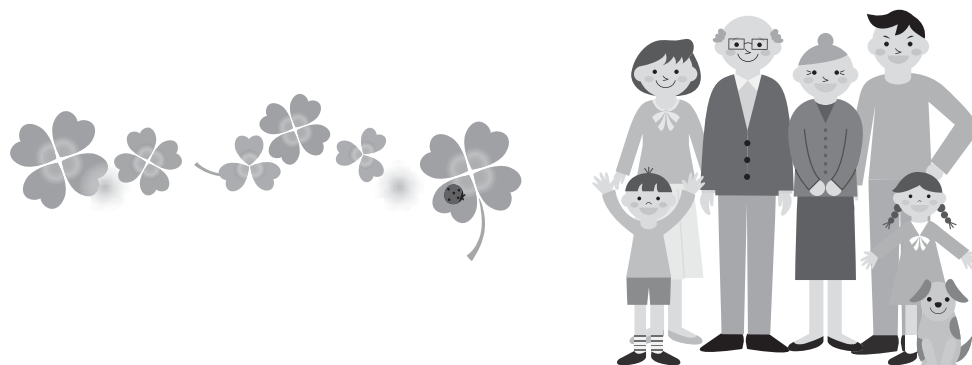
## 4 福祉活動計画

### 米倉地区福祉活動計画

#### (1) 基本理念(スローガン)

米倉地区に住む住民一人ひとりが地域活動に積極的に関わり、お互いを個人として尊重しあい、生きがいや充実感をもちながらその人らしい生活ができることを目指していくことが大切です。こうしたことから次のとおり計画の基本理念を定めました。

**豊かな自然 歴史が息づく  
住みよい地域 米倉  
～地域の宝を掘りあてよう!～**



#### (2) 基本目標

福祉懇談会で話し合われた地域の現状や福祉課題に基づき、計画の基本目標を次のとおりとしました。

基本目標 1	思いやり・助け合い育てる絆 団結力
基本目標 2	自然と伝統を守り伝える 結束力
基本目標 3	地域の宝を活かした 発信力
基本目標 4	世代を超えて人が輝く 地域力
基本目標 5	地域は家族 愛があふれる 福祉力
基本目標 6	食の安心安全 地元の資源を活かす 循環力



### (3) 計画の実現に向けて

目標達成の具体的な取り組みの例 → 福祉懇談会では  
自分達でどんなことができるのか  
アイデアを出し合いました。



- ◆基本目標 = こんな地域であつたらいいな
- ◆実施項目 = 私たちにできること(取り組みの例)

#### 基本目標 1 思いやり・助け合い育てる絆 団結力

目 標		実施項目(取り組みの例)
1	思いやり・助け合いを育てる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認、声かけ、名簿作りの実施</li> <li>・買い物や通院の手伝いをする</li> <li>・一人暮らしの家の雪下ろしや草刈りをする</li> </ul>

#### 基本目標 2 自然と伝統を守り伝える 結束力

目 標		実施項目(取り組みの例)
1	自然と伝統を守り伝える地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米倉太鼓・盆太鼓を次の世代に伝える</li> <li>・文化活動を続ける</li> <li>・賽の神の実施</li> <li>・臼が森の登山道の整備をする</li> <li>・蛍の里「ビオトープ」の整備をする</li> </ul>
2	自然の維持、そして復活を目指す地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・融雪道路の整備をする</li> <li>・畑の整備、山菜取りの場所の整備をする</li> <li>・「不法投棄ダメ」の看板の設置</li> <li>・クリーン作戦の実施</li> <li>・サイクリングロードの整備をする</li> <li>・地域用水路の江浚いをする</li> <li>・里山の整備をする</li> </ul>



### 基本目標3 地域の宝を活かした 発信力

目 標		実施項目(取り組みの例)
1	豊かな自然と資源を生かす地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の宝を活用する               <ul style="list-style-type: none"> <li>・角石原、臼が森、山内口止番所公園</li> <li>・サイクリングロードを活用する</li> <li>・コンニャク、笹団子、漬物等の加工食品</li> <li>・加治川</li> <li>・参勤交代の街道</li> <li>・蛍の里「ビオトープ」</li> <li>・米倉太鼓、盆太鼓 など</li> </ul> </li> <li>・かんじきレースを復活する</li> <li>・有機肥料を活用する</li> <li>・秋のお膳を味わう会の実施</li> <li>・京野菜の情報の発信をする</li> <li>・さまざまな体験やイベントの実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・梅干しづくり体験</li> <li>・そば打ち体験</li> <li>・みそづくり体験</li> <li>・笹団子、ちまきづくり体験</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

### 基本目標4 世代を超えて人が輝く 地域力

目 標		実施項目(取り組みの例)
1	つながりを大切にした「地域活性」を目指す地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達は祭りに参加する</li> <li>・一人暮らしの年配の人がいつまでも暮らせるようにできる範囲で手足となる</li> <li>・年寄りも参加できるイベントの実施</li> <li>・山内ワッショイの実施</li> <li>・婚活の場所を提供する</li> <li>・声かけ運動をする</li> <li>・地域の居場所を提供する</li> <li>・施設を活用する</li> <li>・閉校後の校舎を活用する</li> </ul>
2	顔が見える明るい地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一言でも二言でも会話をする！</li> <li>・明るいあいさつをする</li> <li>・近所の思いやりのある活動の実施</li> <li>・近所同士が仲良くする</li> </ul>
3	他地域との交流を活かし若い人を呼び込む地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米倉太鼓、盆太鼓を活用する</li> <li>・婚活がんばろう！！</li> <li>・有機の里交流センターを活用する</li> <li>・物づくり体験の実施</li> <li>・ふれあい農園を活用する</li> </ul>





## 基本目標5 地域は家族 愛があふれる 福祉力

目 標		実施項目(取り組みの例)
1	みんなで将来を考える地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の施設を活用する</li> <li>・みんなの憩いの場づくりの実施</li> <li>・消防団に嫁を紹介する!</li> <li>・夏フェスを活用する!</li> <li>・若い人を応援する!</li> <li>・子育てに協力的な地域づくりの実施</li> <li>・コミュニティバスの検討をする</li> </ul>
2	生涯現役 地域が家族!!人が輝く地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の見守りをする</li> <li>・防災活動の実施</li> <li>・誰もが参加できるイベントの実施</li> </ul>

## 基本目標6 食の安心安全 地元の資源を活かす 循環力

目 標		実施項目(取り組みの例)
1	他地域との交流を活かし若い人を呼び込む地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねむの木の市の新鮮野菜販売を活用する</li> </ul>
2	地元の資源を活かす地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい農園を活用する</li> <li>・米倉の米や酒をPRする</li> <li>・有機資源センターを活用する</li> <li>・有機肥料を活用する</li> <li>・地元野菜を食べる</li> <li>・生ゴミの資源化に取り組む</li> <li>・食循環を目指した親子料理教室の実施</li> </ul>



# 5 策定方法

## (1) 米倉地区福祉活動計画策定団体等

この米倉地区福祉活動計画は、米倉地区区長会を中心に自治会、民生委員児童委員、保健自治会、消防団、老人クラブ、有機の里交流施設運営協議会、農事組合法人 米倉村、農家組合、米倉小学校PTA、米倉ねむの木市 利用者協議会、新発田南地域包括支援センターなどが福祉懇談会を開催し、地域の現状及び課題を把握して、基本目標や具体的な取り組み事例として策定しました。

### ■米倉地区福祉活動計画策定団体等

#### ・米倉地区区長会

1	米倉自治会
2	大槻自治会
3	山内自治会
4	中々山自治会

- 民生委員児童委員
- 保健自治会
- 消防団
- 老人クラブ
- 有機の里交流施設運営協議会
- 農事組合法人 米倉村
- 農家組合
- 米倉小学校PTA
- 米倉ねむの木の市 利用者協議会
- 新発田南地域包括支援センター





## (2) 米倉地区福祉活動計画策定経過

年 月 日	会 議 等	内 容
平成27年5月1日	米倉地区区長会 (大槻集落開発センター)	・米倉地区福祉活動計画について説明 (参加者11名)
平成27年7月2日	第1回米倉地区福祉懇談会 (大槻集落開発センター)	・「米倉地区福祉活動計画」勉強会 ・グループワーク1 ①私たちの地域のいいところ ②身近なところで困っていること ③こんな地域であつたらいいな ④私たちにできること ・グループ発表 (参加者40名)
平成27年8月3日	第1回米倉地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成27年8月6日	第2回米倉地区福祉懇談会 (大槻集落開発センター)	・グループワーク2 前回の振り返り及びまとめ 地区の現状と課題の整理 計画の基本目標の検討 ・グループ発表 (参加者34名)
平成27年9月1日	第2回米倉地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成27年9月3日	第3回米倉地区福祉懇談会 (大槻集落開発センター)	・グループワーク3 前回の振り返り及びまとめ 基本目標の検討 スローガンの検討 ・グループ発表 (参加者35名)
平成27年9月17日	第1回編集委員会 (大槻集落開発センター)	・米倉地区福祉活動計画の基本理念、基本目標などの検討 (参加者13名)
平成27年9月25日	第3回米倉地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成27年10月22日	第2回編集委員会 (大槻集落開発センター)	・米倉地区福祉活動計画の目標に向けた実施項目などの検討 (参加者9名)
平成27年11月25日	第3回編集委員会 (大槻集落開発センター)	・米倉地区福祉活動計画(案)修正・確認等 (参加者10名)
平成27年12月	・米倉地区福祉活動計画完成	

### (3) 米倉地区福祉懇談会で出された意見

グループに分かれて、地域の現状や課題を共有し、地域の皆さんで支え合いの知恵を出し合いました。懇談会で皆さんが話し合われた意見をご紹介します。（グループごとに掲載しています。）

#### 1 私たちの地域のいいところ

- ・小学生が大人に元気なあいさつをしてくれる
- ・自然豊かな地域
- ・豊かな自然（臼が森、加治川、二王子等）
- ・農業に活気がある
- ・おいしい米、山菜
- ・ふれあい農園で他地域の人とコミュニケーションできる
- ・伝統芸能（太鼓）
- ・伝統の盆太鼓、笛で踊れる盆踊りがある
- ・歴史ある寺社仏閣
- ・歴史的景観（町並）
- ・歴史等がある
- ・自治会毎に敬老会を行っているので出席者が多い
- ・自治会はまとまりがある
- ・人のつながりがある
- ・米倉の男性、女性とも活気がある
- ・米倉女子衆の集い 村の生活改善をここで決めている
- ・自然がいっぱい
- ・自然が豊富なところ
- ・お年寄りがたくさんいます
- ・人がやさしい
- ・人と人とのつながりが深い
- ・食べ物おいしい



- ・高齢者の方が元気
- ・山菜の取れる良い所
- ・有機の里交流センター、米倉ふれあい農園、ねむの木  
の市などがあります
- ・いい意味で便利でなく不便である
- ・田舎の割に施設が充実
- ・静かでいい！
- ・集落の方はほとんどの方が顔が見えると思う
- ・自家製の野菜など作れない人にあげたりもらったり出来る
- ・地域の人顔がわかる
- ・近所づきあいが良い
- ・近所づきあいやあいさつは出来ているのでいいと思う
- ・加治川があり、臼が森があり、気持ち的に穏やかになる  
ところ
- ・子ども達のあいさつが良い
- ・学校行事に保護者がほとんど参加する
- ・各家庭に川が通っている
- ・自然が豊か、山がきれい
- ・山があり、川があり、春は山菜が多く取れる



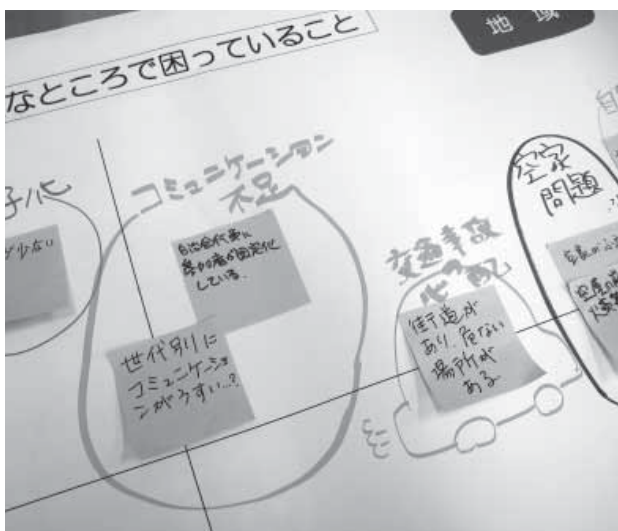
- ・農家が多く、お年寄りが畑仕事に精を出している
- ・ねむの木の市があるので、年をとっても畑作業に精を出せる
- ・村の道路にはゴミなど落ちていない（皆、気をつけているのでは！）
- ・自治会と老人クラブの共同作業が良いと思います
- ・いろいろな行事に参加している（有機の里つながり）
- ・住んでいる人が話しやすい（訪問した時とても優しい）
- ・近所の様子を大体の人は知っている
- ・友人、となり近所のつき合いが良いと思います
- ・ゲートボールが盛んである
- ・お年寄りが元気
- ・人とのつながりが良い
- ・おいしいものは（漬物など）近所に分けて一緒に楽しむわちあい
- ・12kmもあるサイクリングロード
- ・歴史ある臼が森



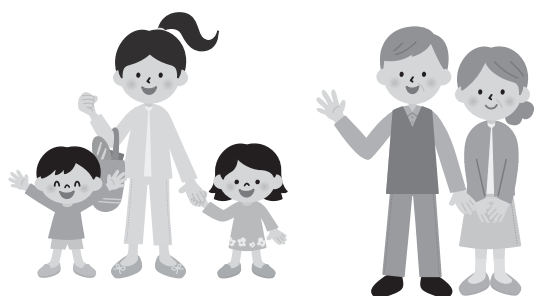
## 2 身近なところで困っていること

- ・空き家が増えた
- ・空き家の崩壊、火事等心配
- ・世代別にコミュニケーションがうすい…？
- ・雪が多い
- ・除雪の雪のやり場がない
- ・老人世帯が増えつつある
- ・一人暮らしの人が多くなった（女性）
- ・子どもが少ない
- ・自治会行事に参加者が固定化している
- ・街道があり、危ない場所がある
- ・猿など野害生物が多い
- ・除雪がおそい
- ・夜8時以降電話しづらい
- ・猿の害、多い
- ・猿、猪がたくさんいる
- ・子どもがいない、少ない
- ・老人クラブが勝手に解散したこと、若手に相談してもらいたかった
- ・地元以外の車の通行が多い
- ・どこに話をしたらいいかわからない
- ・これから空き家が増えてくるので火の用心が心配
- ・独身が多い
- ・子どもが少なくなってきた、学校行事、地域行事が大変！（保護者が少ない）
- ・直接ではないけど少子化、高齢化、老老介護的な事
- ・お嫁さんになかなかきてくれる人がいなく、子どもも少なく、さびしくなります





- ・ふれあいルームが古くなっている
- ・米倉小学校の校舎利用
- ・猿害対策
- ・水道料金が高い
- ・空き家が多い
- ・一人暮らしの方、受診や買い物が大変そう
- ・一人暮らしのおばあさんに買い物に連れて行ってほしいと頼まれた どこまでしてやればいいのか?
- ・子どもがいない
- ・若い世代が少ない
- ・交通が不便
- ・子どもの人数が少ない
- ・若い男子は結婚しない
- ・嫁がこない
- ・雪が多い時期は、雪のけが大変そう
- ・行事の参加者が減ってきた
- ・つながりが強いことがネックになる



### 3 こんな地域であつたらいいな

- ・昔のように子どもがいっぱいいればなあ
- ・子ども達の遊び場があつたらいいな
- ・全天候型のコミュニティセンター（スポーツもできる）
- ・となり近所にひと声かける（老人）
- ・介助付入浴施設
- ・移動支援車（町へ行く低料金バス）
- ・おたがい様の精神が育つたらいいな
- ・となり近所の見守りを続けていけたらな
- ・見守り活動をもっと強化できれば良い
- ・子どもが多い地域
- ・永遠に小学校があつたらいい
- ・コミュニティバスがあつたら良い
- ・若い世代や高齢者世代わけへだてない
- ・嫁さんが来て明るい地域にしてほしい
- ・行事への参加
- ・健康で長生きできるといい 丈夫で長生きしてコロッと死ぬ
- ・老人クラブの草むしり等の活動をやってもらえる地域
- ・声をかけ合える隣人関係
- ・猿より人が多いといい
- ・猿害等を地域で守れるようなことができる
- ・祭りにたくさんの人が来る
- ・独身男性が多い様なので、出会いの場があつたらいい
- ・地域の茶の間のようなもの
- ・清水がまた出たらいいな
- ・地域に介護施設（地域の方優先）





- ・子どもからお年寄りまで一緒になってできる行事などができたら…
- ・コミュニティバスを運行してほしい
- ・この地域で医・食が確保できるといい
- ・市で猿害対策をもっと多くしてほしい
- ・雪おろしの補助をもっと多くの人に
- ・地域で加工所をつくり、野菜をうまく利用したい
- ・漬物、山菜加工場があるとよい→売れる、とれた物をムダにしないで済む
- ・コンパクトシティ的な地域だったらいいな
- ・金融難民にならない地域
- ・気軽に困った事を相談できる関係になれるように
- ・若い人の働く場があるといいなあ
- ・米倉版婚活イベントの開催
- ・かんじき大会を復活させよう
- ・サイクリングロードがもっと長くなるとよい
- ・サイクリングロードの活用をもっとした方がよい
- ・都会の人より、もう少し近くの人が雪おろしをしてくれるといい
- ・市の除雪の助成をもっとかんたんな手続きで！
- ・雪おろしに来てくれた人に、物々交換のように米など地元の特産物をプレゼントするとよい



## 4 私たちにできること

- ・買い物の手伝い、医者へつれて行ってあげる
- ・お祭りを主催し全世代の参加、呼びかけ
- ・一人暮らしの方の雪おろし、草刈
- ・Iターン、Uターン者を大勢受け入れられたらいい
- ・安否確認、声かけ
- ・名簿作り
- ・文化活動続けたい
- ・米倉太鼓を伝えていく
- ・盆太鼓伝統
- ・女性グループ活動を続けていきたい
- ・地域内は、安全運転で
- ・地元の野菜を食べてもらうこと
- ・自分たちは祭りに参加する
- ・災害時炊き出しの手伝い
- ・年齢関係なく声をかけれる
- ・一人暮らしの高齢者の人がいつまでも暮らせるようにできる範囲で手足となる
- ・水利の雪かき
- ・山内ワッショイを実施する
- ・婚活の場所提供
- ・全戸とはいえないが、声かけができれば
- ・結婚に対する意識改革の働きかけ
- ・人の噂話をしない
- ・お年寄りの話し相手
- ・高齢者、子どもの見守り
- ・田仕事、畑仕事、土木仕事、建築仕事 お手伝い
- ・近所の人への手助け！
- ・買い物などしてやれる
- ・一人暮らしの雪おろしの手伝い
- ・地域の相談相手
- ・悪質商法の啓発活動
- ・消費生活の相談相手



## 6 参考資料

### 「新発田市地域福祉（活動）計画」の基本理念と体系

#### 1 基本理念

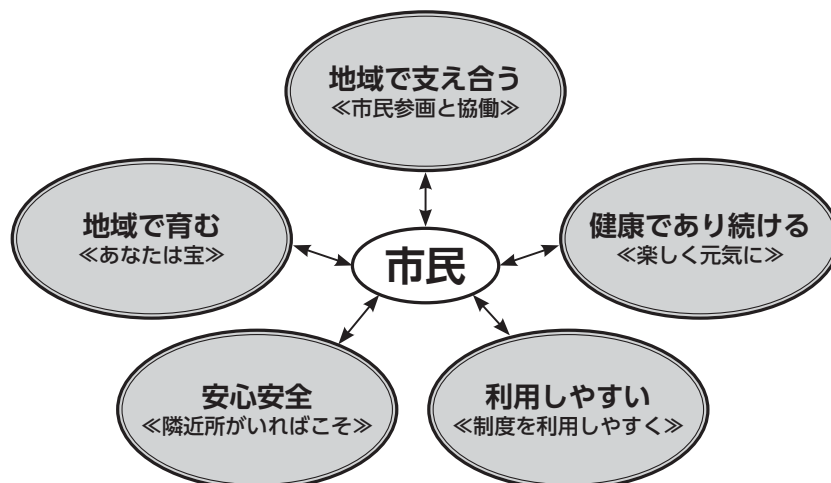
新発田市に暮らす子どもや若者から高齢者までの誰もが、新発田市の歴史と風土を大切に、新発田市民であることを誇りに思う新たな福祉の地域づくりをめざし、新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念を次のものとします。

### ～新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念～

すべての市民が住みなれた地域でともに支え合い  
安心して暮らせる福祉の地域づくり

※「出来るものならば、ずっと育ってきた地域で自立して生きていきたい。」 だれもが望む幸せとは、このような当たり前のことではないでしょうか。

地域福祉（活動）計画は、顔の見える一定の地域を面として、「地域の市民力」「地域の資源力」「行政力」という3つの力を活かし、地域に住んでいる住民や地域で活動している民間団体や事業所が、社会生活を送るうえでお互いに支え合うというわかりやすい仕組みを、行政との協働により住民自ら創り、自ら地域の実態に即した活動を展開するためのものです。そのためには、「地域のことは地域で」（下図参照）を基本として、地域に暮らすだれもが笑顔の中に生まれ、自分らしく健康で自立した生活を送り、生きること喜びを見出していける地域社会の実現を目指します。



新発田市地域福祉（活動）計画は、地域福祉をより効果的に推進するため、市が策定する「地域福祉計画」と社会福祉協議会が住民とともに策定する「地域福祉活動計画」を一体化して策定したものです。新発田市及び新発田市社会福祉協議会のホームページに掲載されております。

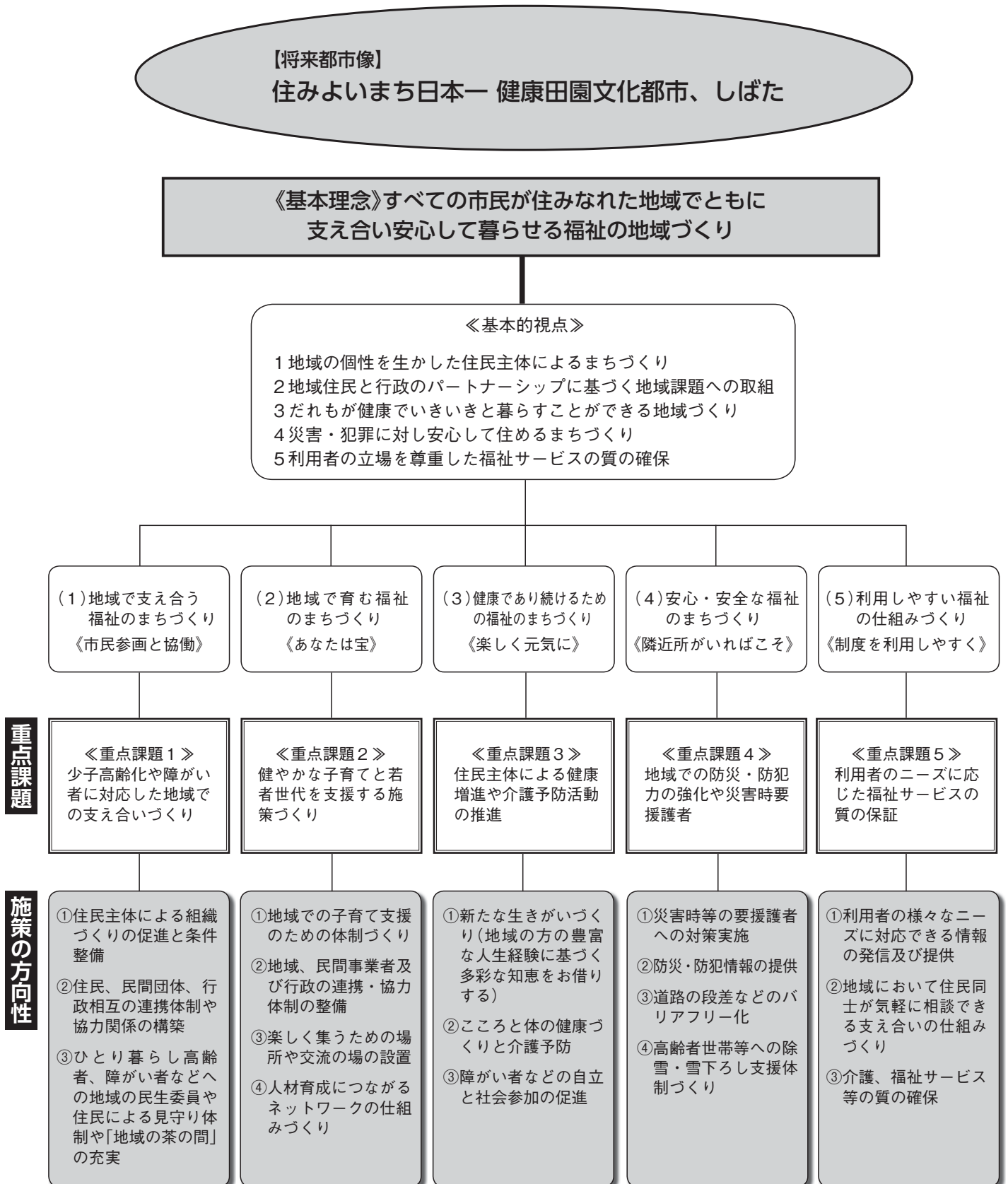
問合せ先：新発田市社会福祉課  
Tel 22-3101

新発田市社会福祉協議会  
Tel 23-1000



## 2 計画の体系

新発田市は、以下の基本理念に基づき、それぞれの重点課題について、施策を実施しながら計画の推進に取り組んでいきます。



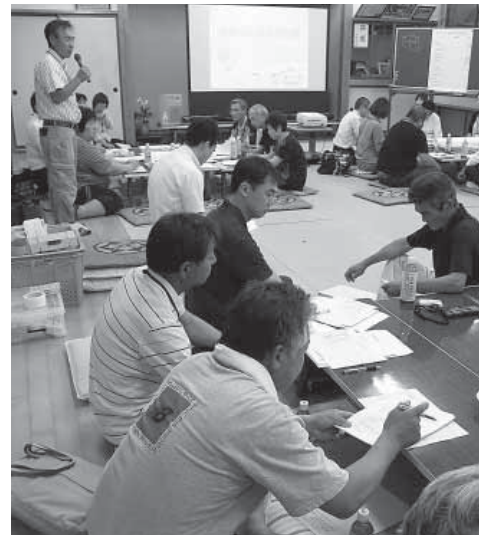
# 米倉地区福祉懇談会

第1号 | 平成27年8月3日

回覧

## 誰もが住み慣れた 地域で安心して 生活を送るために

地域の人と人とのつながりを大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みづくりを目指して



### 第1回米倉地区福祉懇談会

日時 平成27年7月2日(木)  
会場 大槻集落開発センター  
参加者 住民22名  
市・社協(実習生含む)・包括18名

- ①開会挨拶  
米倉地区区長 齋藤会長
- ②趣旨説明  
新発田市 社会福祉課
- ③勉強会  
新発田市社会福祉協議会
- ④グループワーク  
「魅力あふれる米倉地区を目指して」
- ⑤閉会挨拶  
大槻自治会 大倉会長

## 福祉活動計画の理解を深め より顔の見える関係に

これからのまちづくりは、子どもから高齢者まで住民の誰もが住み慣れた地域の中で、心豊かに安心して暮らせるような仕組みをつくり、それを持続させていくことが求められています。

そのためには、さまざまな生活課題について住民一人ひとりの努力(自助)、住民同士の相互扶助(共助)、公的

な制度(公助)の連携によって解決していこうとする取り組みが必要です。

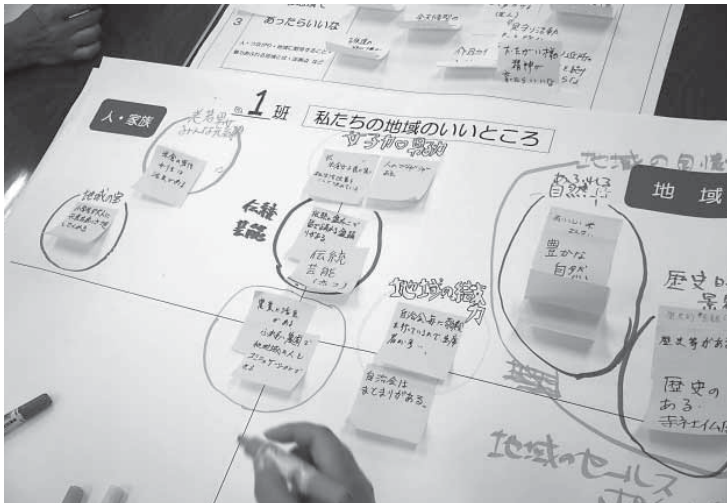
米倉地区福祉懇談会では、住民や関係団体、社会福祉協議会、行政が、福祉懇談会を通じて、地域の良いところや課題などを共有しながら、住民の行動計画である「米倉地区福祉活動計画」の策定を目指しています。

詳しくは裏面で



### 地域のすべての人が 自分らしく安心して暮ら していける地域を目指して

互いに支え合い、一人ひとりが自分たちのできる事を考え、地域福祉の基本的な考え方に基づいて、主体的に参加・協働する地域に向けて



## 第2回米倉地区福祉懇談会

日時 平成27年8月6日(木)  
会場 大槻集落開発センター  
参加者 住民20名  
市・社協・包括14名

- ①開会挨拶  
米倉地区区長会 齋藤会長
- ②グループワーク  
・前回の振り返り及びまとめ  
・地区の現状と課題の整理  
・基本目標の検討  
・グループ発表
- ③閉会挨拶  
大槻自治会 大倉会長

## ほっとけない「気づき」を 伝える仕組みづくり

新発田市では、核家族化や少子高齢化によって「向こう三軒両隣」のような日本の古きよき伝統文化が姿を消しつつあります。

その結果、家族や地域とのつながりのカタチが変化し、地域の伝統文化や郷土愛も薄れ、地域資源が豊かであるにも関わらず継承が困難な状況になっています。

そのため“米倉地区福祉懇談会”では、より多くの住民

に地域への関心を持ってもらい、顔の見える地域づくりを基盤に「気づき」を伝える仕組みを目指します。

第2回懇談会では、グループごとに第1回懇談会で話し合われた4つのテーマ（地域の魅力・地域課題・これからの地域像・これから取り組めること）の内容を振り返りながら意見などを整理し、会場全体で共有しました。

詳しくは裏面で



## 地域の魅力を再認識し 地域の課題を共有するために

第2回米倉地区福祉懇談会では、住民20名の方々からご参加いただき、市職員8名、社会福祉協議会職員5名、南地域包括支援センター職員1名と一緒に「米倉地区福祉活動計画」の策定に向けて、グループワークを行いました。

グループワークでは、第1回懇談会で洗い出された地域にある資源や課題、地域の現状を整理し、今後さらに住み良い地域に向けて、これからの地域像を参加者全員で共有しました。

グループワークの話し合いの中

では、米倉地区は「人と人とのつながりが深い」「伝統芸能がある」「空き家が増えてきた」などの意見や「子どもから年寄りまで一緒になってできる行事ができればいい」「婚活などの出会いの場の提供ができるのではないか」など活発な意見交換がありました。

次回は、魅力あふれる米倉地区を目指して、第2回懇談会のグループワークで話し合われた内容を振り返りながら意見やアイデアを整理し、これからの地区の展望を話し合い、米倉地区福祉活動計画の基本目標を検討します。



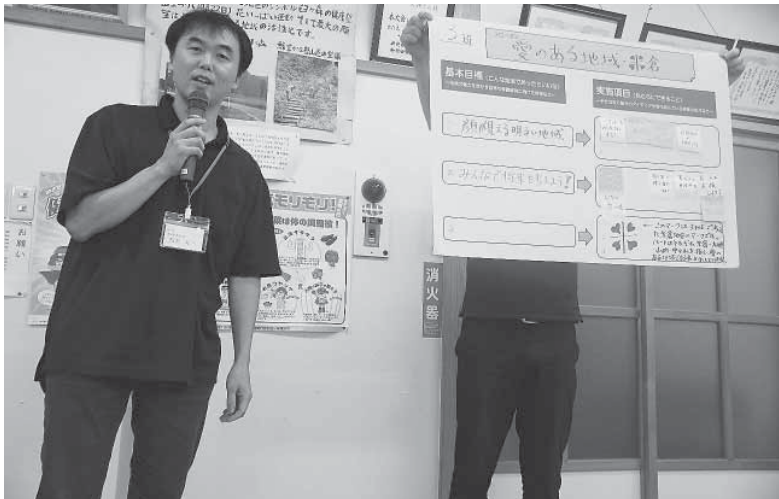
### 第3回 米倉地区福祉懇談会

日時 平成27年9月3日(木)  
19時00分～21時00分  
会場 大槻集落開発センター

発行 米倉地区区長会 新発田市 新発田市社会福祉協議会  
編集 新発田市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 23-1000 FAX 26-3300

### 地域のSOSを 見逃さない つながりのある 地域をつくる

地域のつながりを実感できるように  
身近な地域で福祉活動を活性化し、  
新しい地域づくりを目指します



### 第3回米倉地区福祉懇談会

日時 平成27年9月3日(木)  
会場 大槻集落開発センター  
参加者 住民21名  
市・社協・包括14名

- ①開会挨拶  
米倉地区区長会 齋藤会長
- ②グループワーク
  - ・ 前回の振り返り及びまとめ
  - ・ 基本目標の検討
  - ・ スローガンの検討
  - ・ グループ発表
- ③閉会挨拶  
大槻自治会 大倉会長

### これからの地域を話し合い 誰もが参加できる取り組みを目指して

ご近所の助け合いによって  
支えられてきた人々の暮らしが、  
生活の孤立化、複合的な課題を抱える世帯の増加、  
地域での連帯感の希薄化などが  
すすみ、制度の谷間にあつて  
対応できない課題も多く生じて  
きています。

“米倉地区福祉懇談会”では、  
地域の住民が主体となつて  
地域での支え合いをすすめる  
取り組みを活性化し、  
住み慣れた地域でこれまでの社会

関係を維持しながら、  
誰もが生きがいを持ち、  
地域の社会資源として  
役割を発揮する地域  
づくりに向けて力を  
合わせる必要と  
考えます。

第3回懇談会では、  
第2回のグループワーク  
で話し合われた内容を  
振り返りながら、  
整理したキーワードを  
もとに、米倉地区福祉  
活動計画の基本目標  
やスローガンを検討  
しました。

詳しくは裏面で



## 人と人との「つながり」を地域に広げる あたたかい地域づくりを推進するために

第3回米倉地区福祉懇談会では、住民21名の方々からご参加いただき、市職員7名、社会福祉協議会職員5名、南地域包括支援センター職員2名と一緒に「米倉地区福祉活動計画」の策定に向けて、それぞれの立場を越え、参加者全員で第2回懇談会にて話し合われた内容をもとに、計画の基本目標や具体的な実施項目、スローガンを検討しました。

「自然と伝統を守り伝える結束力」「生涯現役 地域が家族!! 人が輝く米倉地区」などの基本目標や、「買い物や通院の手伝い」

「婚活の場所提供」「明るいあいさつ」「サイクリングロードの活用」などの目標に向けた具体的な取り組みを話し合いました。

また、スローガンの候補として「豊かな自然、歴史が息づく住みよい地域 米倉」「愛ある地域・米倉」などが提案されました。

今後、編集委員を中心に、安心して暮らせる地域づくりを目指して、懇談会で話し合われた内容を集約し、地域の助け合い・支え合いを基盤にした住民の福祉活動の指針「米倉地区福祉活動計画」を策定いたします。



### 第1回 米倉地区編集委員会

日時 平成27年9月17日(木)  
19時00分～20時30分  
会場 大槻集落開発センター

発行  
編集

米倉地区区長会 新発田市  
新発田市社会福祉協議会 地域福祉課

新発田市社会福祉協議会

TEL 23-1000 FAX 26-3300

米倉地区 編集委員会			
No	自治会名	役職	氏名
1	米倉自治会	自治会長	齋藤 誠司
2	米倉自治会	自治会	齋藤 盛一
3	米倉自治会	民生委員児童委員	遠藤 登
4	米倉自治会	主任児童委員 (有機の里交流施設運営協議会)	齋藤 和久
5	大槻自治会	自治会長	大倉 新一
6	大槻自治会	民生委員児童委員	大倉 眞弓
7	山内自治会	自治会長	外山 元
8	山内自治会	民生委員児童委員	小林 健
9	中々山自治会	自治会長	富樫 栄一
10	中々山自治会	民生委員児童委員	富樫 昭一

## ～みんなでつながる福祉のまちづくり～

編集：米倉地区編集委員会・米倉地区区長会  
新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

発行：平成27年12月

新発田市

〒957 - 8686 新発田市中央町4丁目10番4号

社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

〒957 - 0054 新発田市本町4丁目16番83号



米倉小学校 校歌

古川鉄平 作詞

一 山紫むらさきに 水清みづきよき

自然しぜんの美郷みさとを 守まもります  
白しろヶ森もりをば 朝あさ夕ゆふに  
仰あおぐ楽らしき 学舎まなびやよ

二 流ながれてやまぬ 加治川かぢがわの

絶たえざる如ごとく 一いつつの日ひも  
変からぬ操まねと 誠まこともて  
心こころを磨みがき 業わざ励げむ

三 常盤とぎわの松まつの 色いろ映うつゆる

徽章しるしの鏡かがみ 曇くもりなく  
明あるく清きよく 勇ゆうましく  
靡なびけ旗風はたかぜ とことわに